

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-101

学校名・団体名	高知市立鏡中学校
HPアドレス	http://www.kochinet.ed.jp/v_kagami-j/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	県無形文化財「大利の太刀踊り」の継承と発信
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>校区の過疎化の進行により、高知県の無形文化財に指定されている「大利の太刀踊り」も地区住民だけでは踊り子の確保が困難になった。そこで本校ではしょうわ62年から保存会の方を講師に全校の男子生徒が授業で太刀踊りを練習し、地域や学校行事で披露してきた。今後も継承に取り組む予定であるが、今後、生徒数の減少、特に男子生徒が減少すると見込まれている。そこで、太刀踊りの練習、披露の模様を動画に編集し、今後校内の練習等に活用するとともに、学校のホームページ等で発信することによって、郷土（鏡地区）への愛着と誇りを高める。</p>	

1 活動の時期と内容

- 5月17日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に「大利の太刀踊り」の伝承や高知県の無形文化財に指定されていること、日本刀についてオリエンテーションを行った後、練習した。全校男子生徒11名、男性教員1名参加
(※ 他の教員も参加しているが、踊り手を偶数にするため踊りに加わるのは1名)



- 5月24日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 全校男子生徒11名、男性教員1名参加
- 5月31日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 男子生徒10名参加

- 6月7日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 全校男子生徒11名、男性教員1名参加
- 6月14日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 男子生徒10名参加
- 6月21日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 男子生徒10名参加
- 6月28日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 全校男子生徒11名、男性教員1名参加
- 7月5日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 全校男子生徒11名、男性教員1名参加



- 7月12日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 男子生徒10名参加

- 7月30日(土) 本校の運動場を会場に行われる「鏡夏まつり」(観衆約350人)で太刀踊りを披露。全校男子生徒11名、男性教員1名参加

- 9月6日(火) 「太刀踊り保存会」の3名を講師に練習 男子生徒10名参加

- 9月18日(日) 小中合同大運動会(観衆約250人)で太刀踊りを披露。全校男子生徒11名、男性教員1名参加



- 9月19日(月) 敬老の日に開催される敬老会(参加者約70名)で太刀踊りを披露。全校男子生徒11名、男性教員1名参加
(※ 大利の大祭で奉納するときの衣装に合わせた正装で踊る)



- 11月3日(木) 11月3日(文化の日)に大利にある新宮神社の秋の大祭で、大利地区に住む2名の男子生徒が大人の踊り子に混じって奉納した。

「郷土に愛着と誇りを持つ生徒を育成する」取り組みではこの他に次の取り組みを行った。

- 11月29日(火) 「いちむじん」ミニコンサート
大河ドラマ「龍馬伝」のテーマ音楽を担当したギターデュオ：メンバーの母の実家が本校のすぐ近くにあり、子どもの頃はほぼ毎週末遊びに来たり、泊まったりしていた)に演奏と人との出会いや自然豊かな鏡での経験が音楽にどう影響を与えたか話してもらった。



- 12月15日(木) 校区の最高峰の国見山(926m)に登山する約23kmの錬歩会を行い、全員完歩した。



- 2月22日(水) 「キンビール高知支店の奇跡」
アサヒビールの猛追を受けていたキンビールの中でも代表的苦戦エリアの高知に左遷された支店長を中心に業績を回復させ、その後のキンビールの戦略を変えるきっかけとなった高知支店。その中心メンバーであった当時の女性社員に話してもらった。

○ 2月28日(火) ミニコンサート

ヴァイオリン奏者の辻本あすかさんとクラリネット奏者の吉田佐和子さんを招いて、ミニコンサートを開催した。また、辻本さんにはインドのストリートチルドレンへの支援活動、吉田さんには福知山の地域振興について語ってもらった。



2 活動の成果

全校生徒26名の生徒たちが、地域の大きな行事である夏祭りや敬老会で、主な出演団体の1つに位置づけられ、多くの観衆の前で太刀踊りを披露し、賞賛の拍手をもらう経験は、うれしく思うと同時に、県の無形文化財である太刀踊りの伝承者であることを誇りに思う経験になっている。さらに、今年度は長年、敬老会で太刀踊りを披露してきたことに対し、市長から感謝状を贈られ、伝統の重さを実感する年になった。

女子生徒の篠笛や和太鼓、三味線による「太刀踊りの囃子」の演奏は、8回練習した。篠笛・三味線の演奏は、予想以上に難易度が高く、残念ながら今年度の披露は断念せざるを得なかった。そこで、音楽の授業で「日本の伝統楽器」として引き続き演奏に取り組むことにした。

3 最後に

本校の現在の3年男子生徒2名が卒業する来年度以降の大利地区の男の子どもの数を小学生の在籍数も合わせて見てみると、現在の小学校4年生に1名、3年生に2名いるだけである。学校で太刀踊りの取り組みをやめることは、後継者の育成はもちろん、踊り手が途絶えてしまうことにつながる。今後も引き続き太刀踊りに取り組みたい。